



2024年10月1日

各位

会社名 ジーエルテクノホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 長見善博
(コード番号 255A 東証スタンダード)
問合せ先 管理本部長 麻田俊弘
(03-4212-6677)

ジーエルテクノホールディングス株式会社の中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年3月期から2027年3月期を対象期間とする3カ年の中期経営計画を別紙のとおり策定いたしましたので、お知らせいたします。

以上

ジーエルテクノホールディングス株式会社 中期経営計画

(2025年3月期～2027年3月期)

2024年10月1日

ジーエルテクノホールディングス株式会社

INDEX

経営統合	3
事業概要	8
前中期経営計画の振り返り	14
中期経営計画	18

経営統合

経営統合に至った経緯

分析機器事業

1968(創業)

1990

ガスクロ工業(株)設立

ジーエルサイエンス(株)に
社名変更

半導体事業

1976

1991

(株)ガスクロ・ヤマガタ
設立

テクノオーツ(株)に
社名変更

自動認識事業

2013

ジーエルソリューションズ(株)
設立

持株会社

2024.10

ジーエルテクノ
ホールディングス
株式会社 設立

成長機会の補足 (最適な経営資源配分)

経営効率の向上

意思決定の迅速化

【統合の経緯】

急速に変化する社会・ビジネス環境に
対応するためには
企業が単独で事業展開するだけでなく
グループ全体で協力し
持続可能な成長を目指すことが
戦略上不可欠と判断したため
経営統合に至った

Search for a Way

次のイノベーションのそばに。

ジーエルテクノホールディングス株式会社

2024年10月1日 東証スタンダード市場テクニカル上場（証券コード：255A）

事業概要



持株会社

ージーエルテクノホールディングス株式会社ー

分析機器事業

ージーエルサイエンス株式会社ー

クロマトグラフィーの技術であらゆる分析を支える

【コア事業】

半導体事業

ーテクノクォーツ株式会社ー

最先端の加工技術で世界の半導体製造を支える

【成長事業・コア事業】

自動認識事業

ージーエルソリューションズ株式会社ー

非接触IC技術でより快適な社会を実現する

【新規事業】

自動認識事業

5%

分析機器事業

49%

売上高
371億円
2024年3月期

半導体事業

46%

自動認識事業

2%

分析機器事業

35%

営業利益
57億円
2024年3月期

半導体事業

63%

ジーエルテクノグループのミッション・方針

Mission

[ミッション]
存在意義

人と社会の可能性を触発する

ジーエルテクノグループは、創業当初より「信頼し合える仲間が集まり、人がこの世に生まれた意義を追求すること」を根本精神としており、組織の成り立ち自体が、人がもつ可能性を触発する挑戦でもあったといえます。自らの成長のみならず、産業や社会の発展の可能性をも触発する存在でありたい。その思いは今も変わることはありません。私たちは創業の理念を受け継ぎ、その使命に向かって挑戦し続けます。

Vision

[ビジョン]
将来目指す理想の姿

枠にとらわれない 自由な価値創造に挑戦する

ジーエルテクノグループは、創業より半世紀を超える歩みを重ねてきましたが、前例や既成の事業領域に縛られることなく、グループを構成する一人ひとりが自身で思考しながら、新しい価値創造に取り組んでいきます。

Corporate Message

[コーポレートメッセージ]
企業メッセージ

Search for a Way 次のイノベーションのそばに。

お客様のために、社会のために。そして自分たちの成長に向けて、常によりよい手段・手法を探し続けていきます。いつの時代も科学の発展と人々の暮らしを支え、社会に貢献していきます。



事業概要

セグメント別事業概要 分析機器事業

クロマトグラフィーの技術であらゆる分析を支える

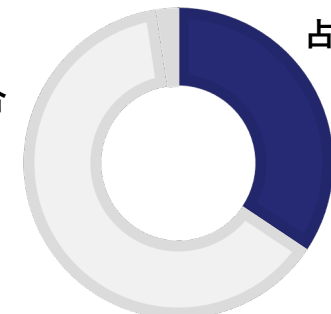
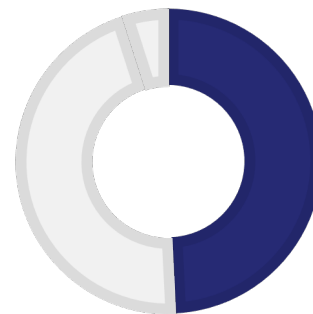


分析機器事業 [ジーエルサイエンス株式会社]

分析装置やその装置に欠かせないカラムなど各種消耗品の企画、開発、生産、販売、サポートまでを一貫対応しています。医療、食品、環境、石油化学、鉄鋼など、幅広い分野の研究機関において、日夜行われている成分分析をさまざまな角度から支えています。

売上高 182億円
2024年3月期

営業利益 19億円
2024年3月期



製品ラインアップ

消耗品



LC充填カラム



GCキャピラリーカラム



固相抽出カラム

- ・カラムはシリカゲルの合成から自社製造
再現性・分離性能・耐久性に強み
- ・アプリケーション毎に対応可能な豊富なラインアップ
- ・分析対象に適応した分析ノウハウの提供

装置



ガスクロマトグラフ



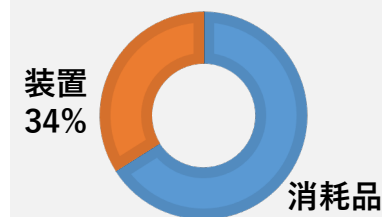
水質測定装置



試料前処理装置

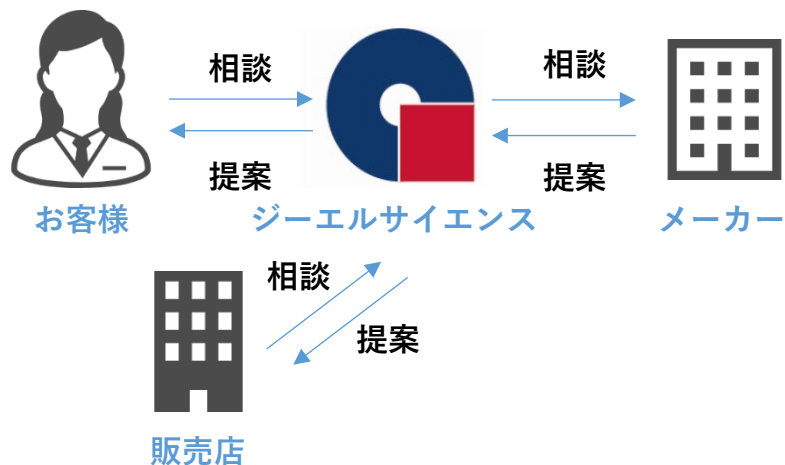
- ・高度にカスタマイズされた装置の提供
- ・独自のニーズに対応した、少量生産での対応
- ・開発・製造・販売・サポートの一貫体制による
徹底した品質管理と迅速な顧客対応

売上高構成比率
2024年3月期



セグメント別事業概要 分析機器事業

製品ラインの多角化



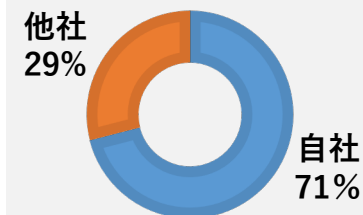
専門技術により自社・他社製品の中から
最適なソリューションを提供

カスタマーサポートセンター

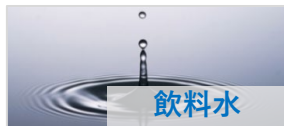


技術者が分析方法の
問い合わせに応えます

売上高構成比率
2024年3月期



多様な顧客属性



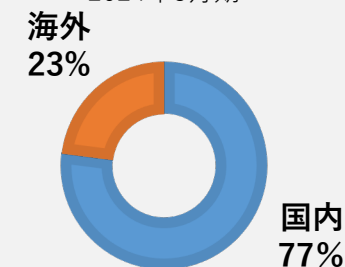
医薬品の研究開発から化学工業品の品質管理、食品中の有害物質の混入確認や水道水の水質検査など幅広い分野で貢献

国内の深化と海外の拡張

【国内】
消耗品と装置の多角的アプローチ

【海外】
消耗品主導の集中戦略

売上高構成比率
2024年3月期



セグメント別事業概要 半導体事業

最先端の加工技術で世界の半導体製造を支える

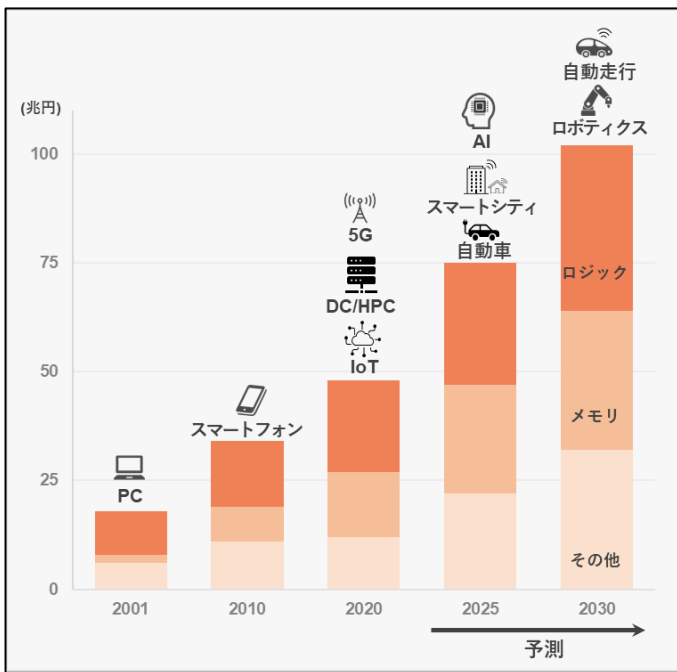


半導体事業 [テクノクオーツ株式会社]

半導体製造装置用の高純度石英ガラスと結晶シリコンパーツの製造・販売を主力とし、業界の技術革新を支えています。世界トップクラスの品質と安定供給を実現する厳格な生産体制を整え、独自の技術開発力で時代の変化に対応するモノづくりに取り組んでいます。

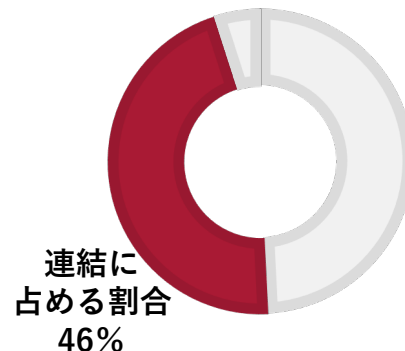
世界の半導体市場

2030年には100兆円とも予測・・・



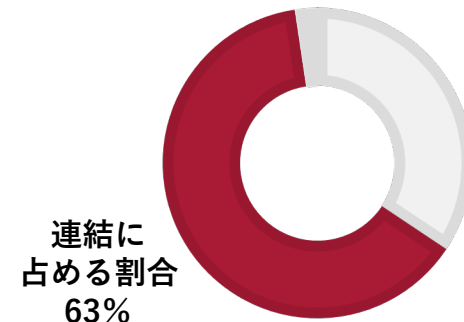
売上高 170億円

2024年3月期



営業利益 36億円

2024年3月期



強み

独自技術の保有

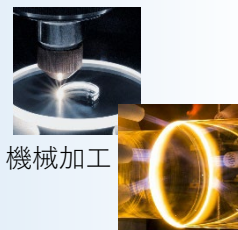
拡散接合による異種材封入プレートの製造など、独自技術による製品製造が可能



異種材封入プレート

多様な加工技術

最先端の機械加工技術だけでなく、熟練の職人による火加工にも対応できる加工技術を保有



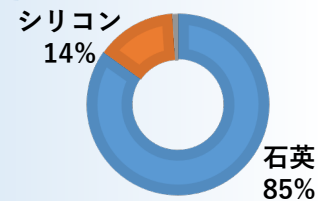
機械加工

火加工

加工素材の多様性

石英からシリコンまで幅広い素材に対応可能な精密加工技術を保有

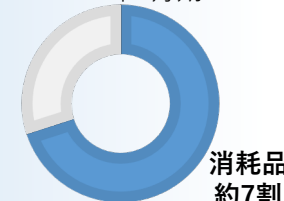
売上高構成比率
2024年3月期



安定した受注の確保

販売製品はリピータ消費品が主軸のため、市場の影響を受けつつも安定した受注を確保

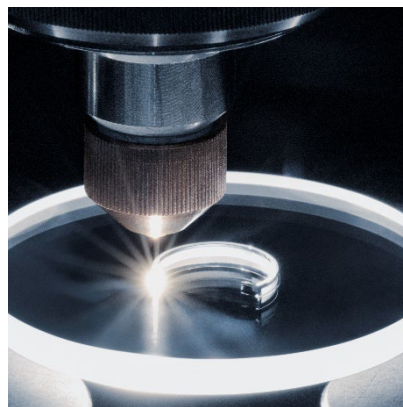
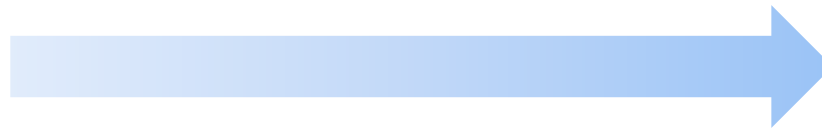
売上高構成比率
2024年3月期



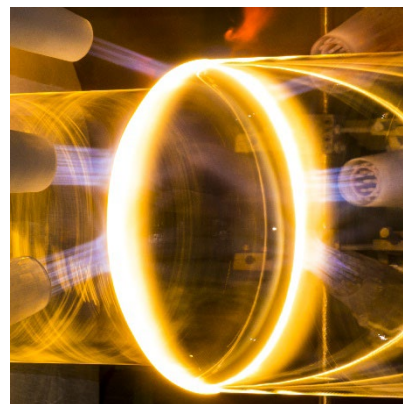
半導体石英製品 製造プロセス例（機械加工・火加工）



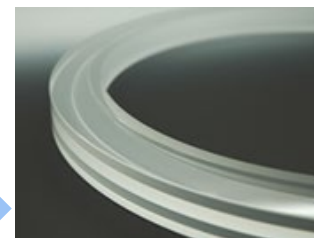
インゴット（材料）



機械加工



火加工



石英リング



縦型石英ポート

加工製品

加工方法

精密機械加工設備を駆使し
石英やシリコン素材を高精度に加工

当社特徴

マシニングセンタ
世界屈指の台数を保有

マシニングセンタ
専門メンバー多数

2000°Cを超える高純度火炎のバーナーにより
溶接や成形を繰り返して加工

複雑な形状や曲線
への対応が可能

熟練者(匠)による
スペシャリストチーム

セグメント別事業概要 自動認識事業

非接触ICカード技術でより快適な社会を実現する



自動認識事業

[ジーエルソリューションズ株式会社]

ICタグの情報を非接触で読み書きする「自動認識技術（RFID）」のパイオニア企業として、30年以上にわたり業界を牽引。先進の半導体技術、センサ技術、情報通信技術を駆使し、自動認識技術のさらなる可能性を追求することで、21世紀の情報化社会をより快適なものに変えていきます。

製品ラインアップ

機器組み込み型リーダライタ

各種機器メーカーへ部品として基盤を提供
アンテナの設計から電波法対応、ファームウェアの改変など特注にも対応



システムソリューション

入退室管理システム、勤怠管理システム、鍵管理システム、化学物質総合管理システムなど、アプリケーションを組み合わせシステムとして提供



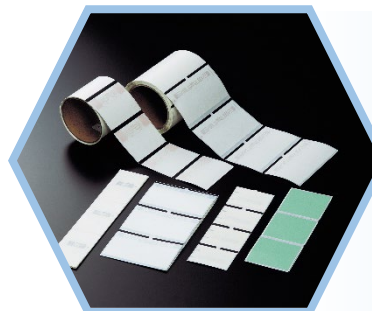
完成系製品群

壁付型や卓上型のリーダライタを提供
入退室管理や警備機器の構成機器としての提供や、PCやPOSレジ等、各種ターミナルに接続して利用する機器を提供



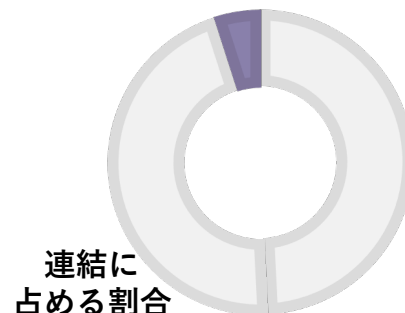
カード・タグ

LF帯やHF帯、その他各種周波数帯に対応したカード・タグを提供
リーダライタなどのセットでも提供可能



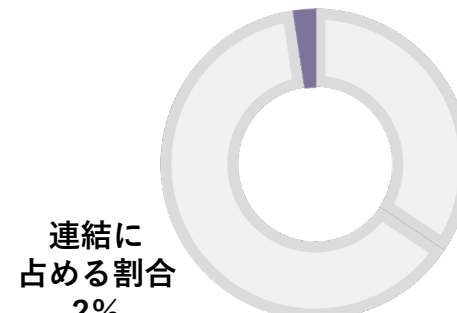
売上高 18億円

2024年3月期



営業利益 1億円

2024年3月期



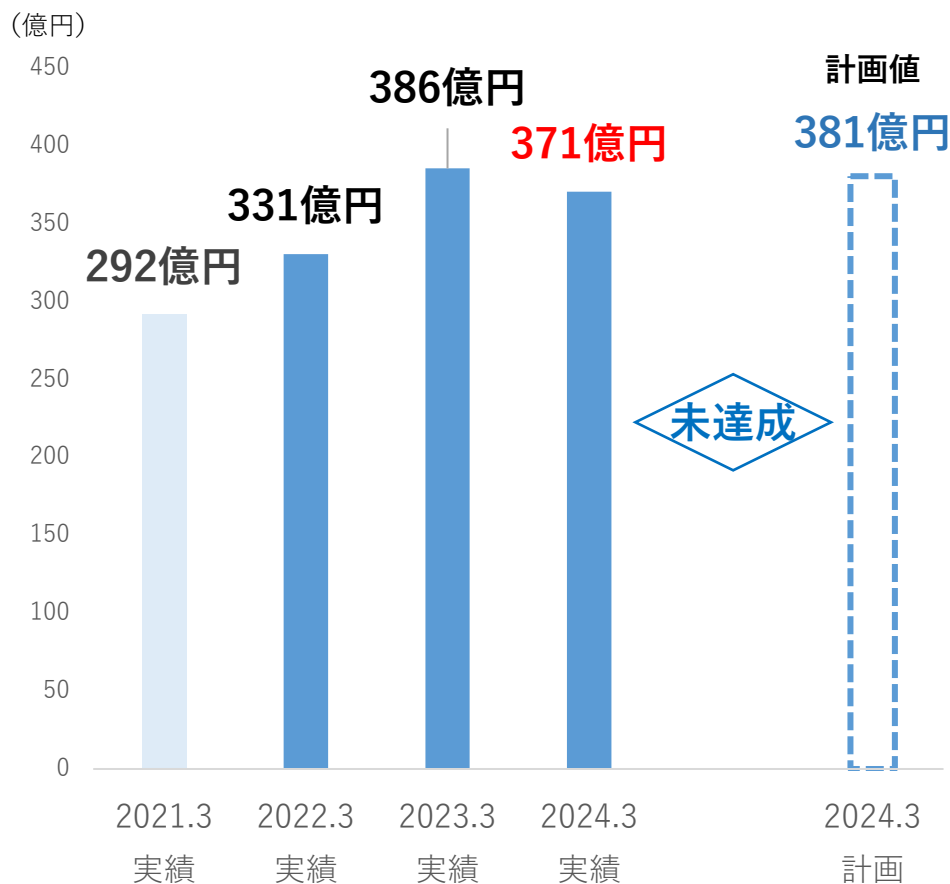
前中期経営計画の振り返り

(2022年3月期—2024年3月期)

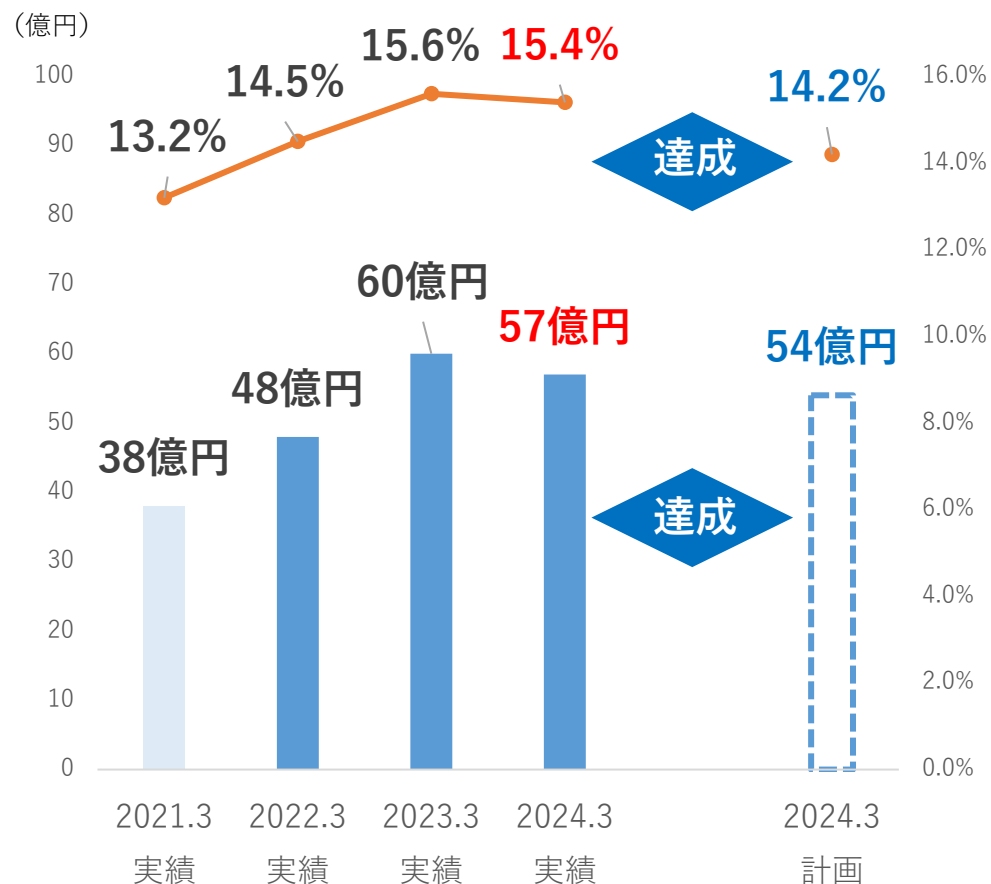
前中計の振り返り

最終年度業績は半導体市況の影響で売上高は未達も、営業利益・営業利益率は達成

売上高



営業利益・利益率



* 2021年3月期の売上高のみ、「収益認識に関する会計基準」適用前の数値

前中計の振り返り（セグメント別）

分析機器事業

計画達成

コロナ禍の影響を受け、中国での拠点設立は一部延期。
ジーエルサイエンス単体での海外売上は拡大するも、計画達成には至らず。（海外売上計画3,500百万円→実績3,009百万円、構成比率22.6%→17.3%）

半導体事業

売上高以外は計画達成

2023年3月期に過去最高の売上高20,003百万円、営業利益4,068百万円に到達するも、2024年3月期は市場トレンドの影響で減速。
中国第3工場は2021年11月に竣工。順次設備を導入し生産能力拡大。

自動認識事業

計画達成

電子部材の供給難の影響を受けた時期もあったものの、売上高は計画通りの着地。
提携企業とのコラボレーションの積極的な推進を開始。

(単位：百万円)	2021.3 実績	2024.3 計画	2024.3 実績	計画 達成率
分析機器事業				
売上高	15,246	17,410	18,281	105.0%
営業利益	1,455	1,740	1,962	112.8%
営業利益率 (%)	9.5	10.0	10.7	—
半導体事業				
売上高	12,732	18,940	17,029	89.9%
営業利益	2,446	3,590	3,615	100.7%
営業利益率 (%)	19.2	19.0	21.2	—
自動認識事業				
売上高	1,238	1,810	1,836	101.4%
営業利益	△54	90	134	148.9%
営業利益率 (%)	—	5.0	7.3	—

前中計の成果と課題

	成果	課題
分析機器事業	クロマトグラフィー事業の持続的拡大 <ul style="list-style-type: none">・ 海外売上高の増加・ カーボンニュートラル関連装置の販売増加・ 消耗品の堅調な推移	持続的拡大のための重点課題 <ul style="list-style-type: none">・ 成長ドライバーである<u>海外市場の更なる開拓</u>・ <u>製品ポートフォリオの拡充</u>・ <u>販売インフラの強化</u>・ <u>EC販売の拡張</u>
半導体事業	製造技術や従業員スキルの強化および生産能力の増強 <ul style="list-style-type: none">・ 半導体産業向け石英製品製造における技術改善や開発ノウハウの育成・ アイシンテック社を子会社化・ 中国第3工場の竣工および稼働	受注増加に向けた経営基盤の強化 <ul style="list-style-type: none">・ 需要の増加に伴う<u>製造能力の不足</u>・ <u>熟練技術者の不足・自動化のさらなる強化</u>・ <u>収益基盤の強化</u>・ 独自技術による<u>差別化</u>
自動認識事業	ビジネス機会の拡大および収益性の改善 <ul style="list-style-type: none">・ 分析機器事業の手法を取り入れパートナー企業との提携活動を促進・ 営業部門と技術部門の協働促進によりセキュアマイコン搭載モジュール等をリリース	技術面における対応強化 <ul style="list-style-type: none">・ 基盤技術を用いた製品の<u>更なる拡販</u>・ 最新の<u>技術トレンドの取り込み</u>・ 事業拡大を見据えた<u>人材の採用・育成の強化</u>

中期経営計画

(2025年3月期－2027年3月期)

経営目標

持続的成長へ

2025.3 – 2027.3
新中期経営計画
2027年3月期計画

売上高	500億円
営業利益	77億円
営業利益率	15.5%
ROE	13%以上

2022.3 – 2024.3
2024年3月期実績

売上高	371億円
営業利益	57億円
営業利益率	15.4%
ROE	10.8%

2019.3 – 2021.3
2021年3月期実績

売上高	292億円
営業利益	38億円
営業利益率	13.2%
ROE	10.0%

01

持続的な成長への戦略投資

02

事業競争力を重視した成長戦略

(1) 持続的な成長への戦略投資

新中計の3年間 成長を加速させるための戦略的な**大型投資を実施**

①山形 半導体事業生産棟
2027年1月 稼働開始



投資
35~40
億円

★福島 2事業生産棟
2028~2029年頃 稼働開始



投資
約40億円

※分析機器事業・半導体事業との共同工場を構想中

②福島 半導体事業生産棟
2026年4月 稼働開始



投資
20億円

③埼玉 分析機器事業生産棟
2025年10月 稼働開始



投資
12億円

(1) 持続的な成長への戦略投資

売上高設備投資比率

14.9%

中期経営計画の3期計画値

7.2%

直近3期実績

※算出方法：
設備投資額 ÷ 売上高

投資総額
約100億円



①山形県山形市
【半導体事業】
投資額35～40億円
2027年1月 稼働開始

③埼玉県入間市
【分析機器事業】
投資額12億円
2025年10月 稼働開始

②福島県喜多方市
【半導体事業】
投資額20億円
2026年4月 稼働開始

★福島県伊達市
【分析機器・半導体事業】
投資額40億円
2028～2029年頃 稼働開始

フル稼働時の
売上高増加額
約90億円



①山形県山形市
火加工の生産能力増強
既存蔵王工場比：約2倍

③埼玉県入間市
カスタムメイドGC装置の
生産能力増強
既存武蔵工場比：約3倍

②福島県喜多方市
機械加工の生産能力増強
既存アイシンテック工場比
：約1.5倍

★福島県伊達市
GC装置等の生産能力拡充
半導体事業の生産能力増強
既存対象工場比：約3倍

※GC：ガスクロマトグラフィー

(2) 事業競争力を重視した成長戦略

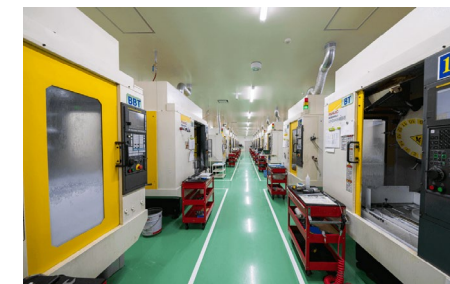
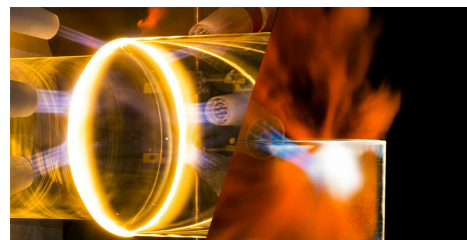
分析機器事業

- 01 海外販売の強化
- 02 国内市場の拡充
- 03 R&D部門の強化



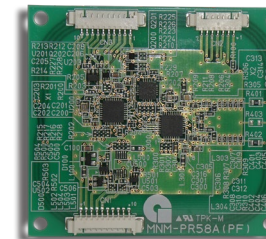
半導体事業

- 01 生産能力増強と効率最大化
- 02 持続可能な収益性の向上
- 03 新規顧客と市場の開拓



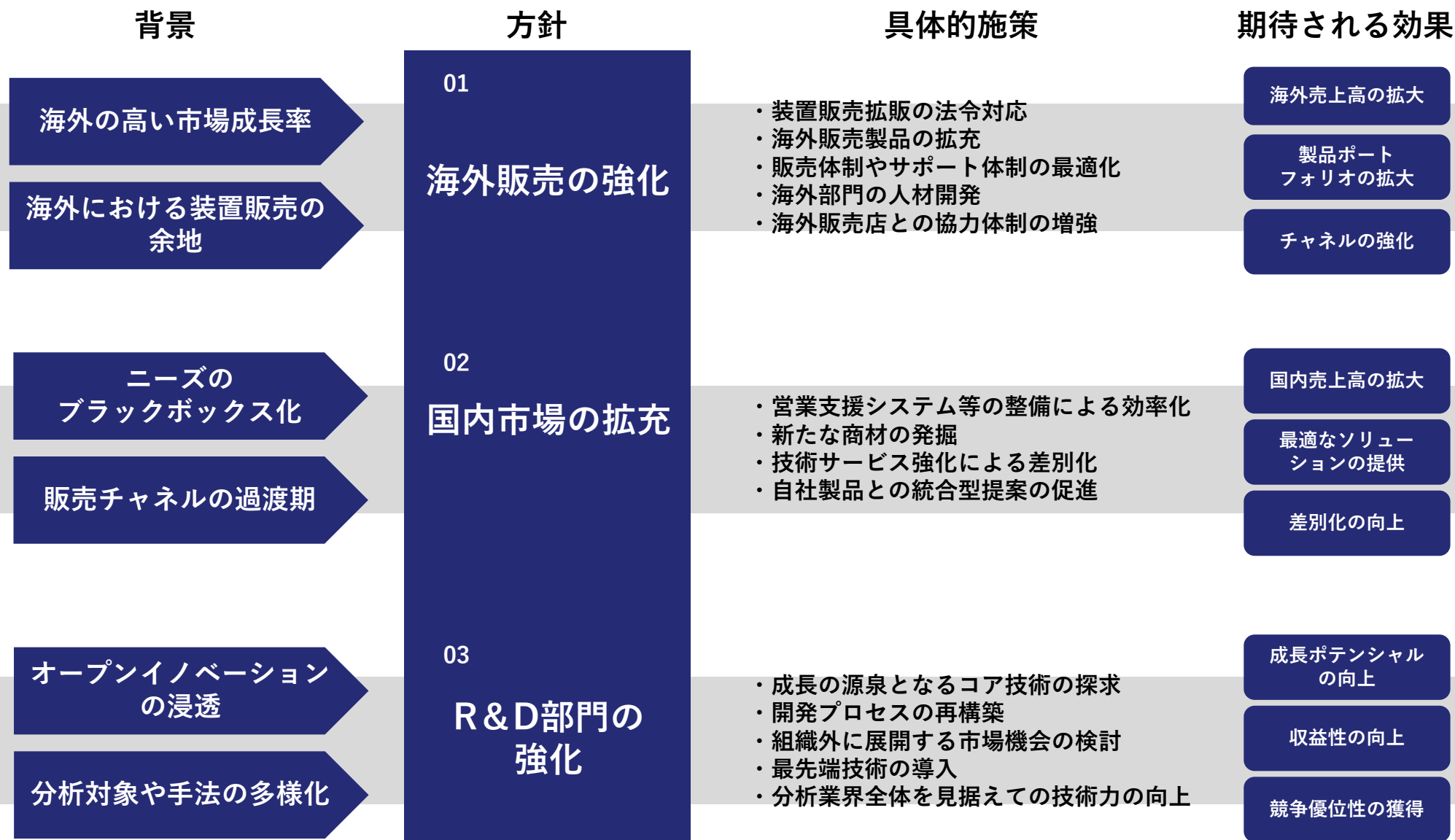
自動認識事業

- 01 RFID関連製品のライン・チャネル拡大
- 02 技術トレンドの取り込み
- 03 経営基盤の強化



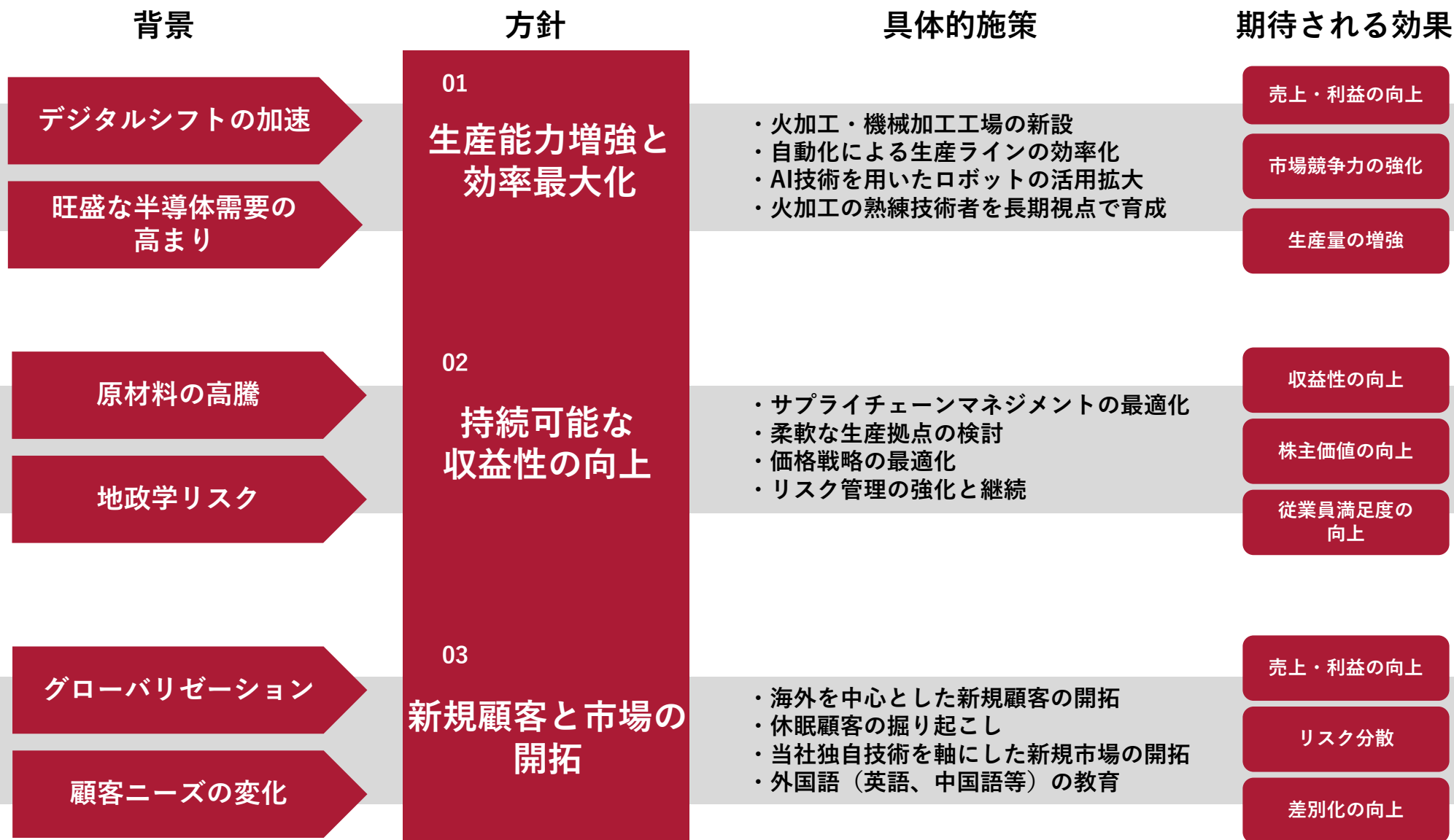
(2) 事業競争力を重視した成長戦略

分析機器事業



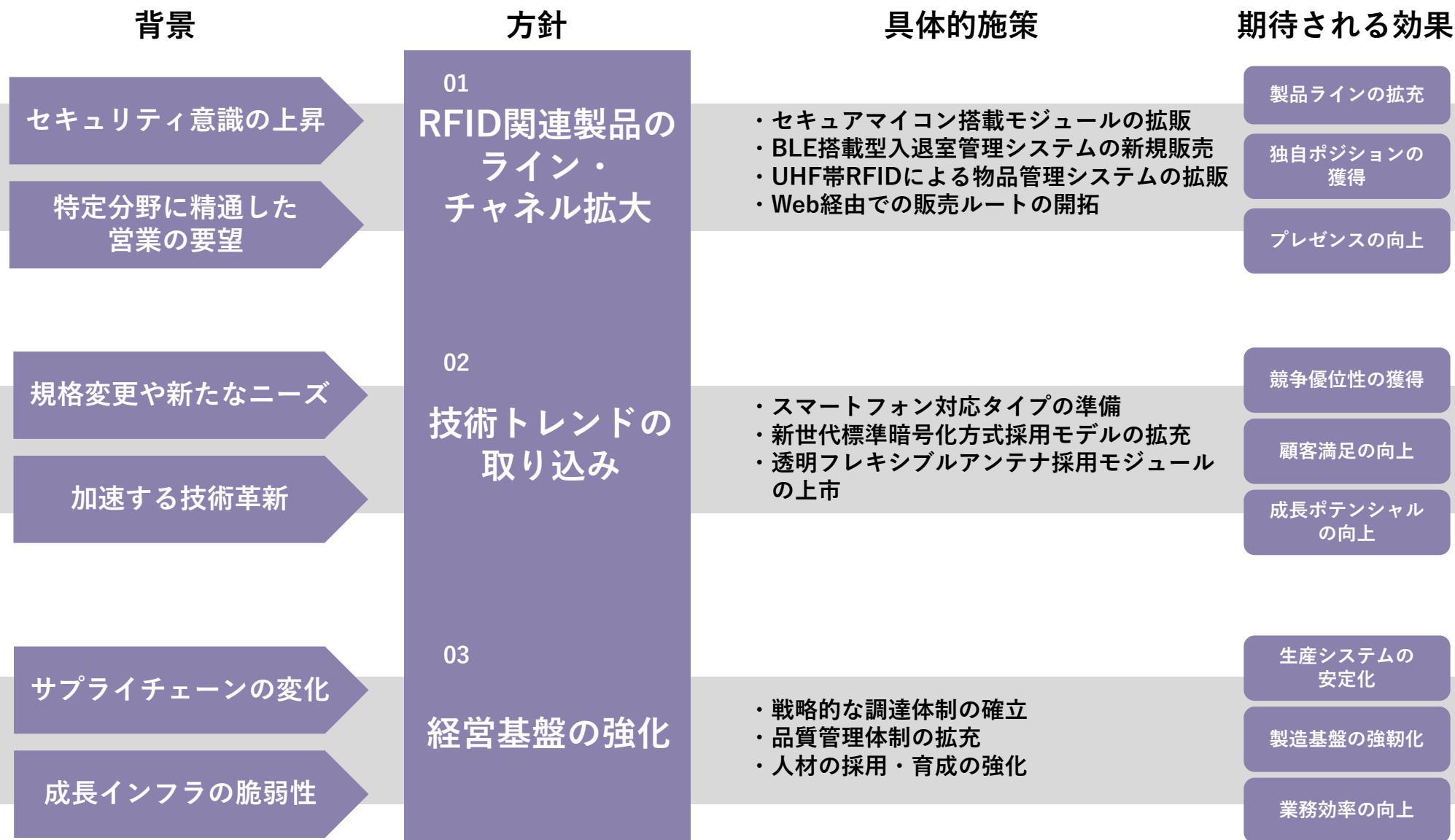
(2) 事業競争力を重視した成長戦略

半導体事業



(2) 事業競争力を重視した成長戦略

自動認識事業



事業セグメント別 売上目標

売上高

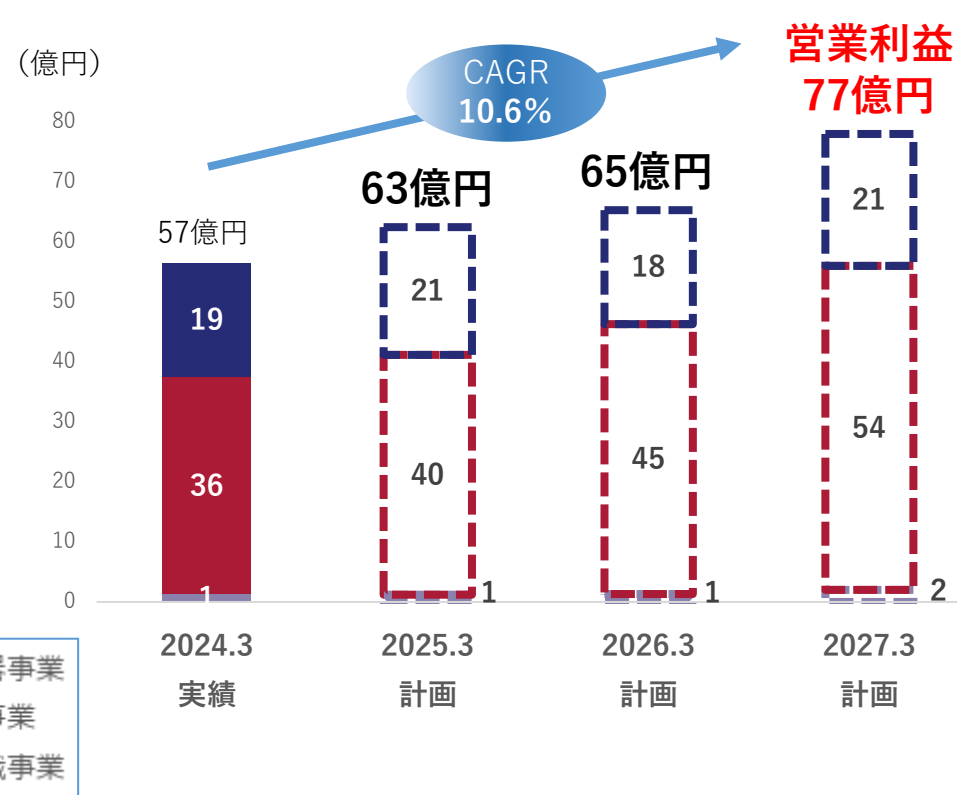
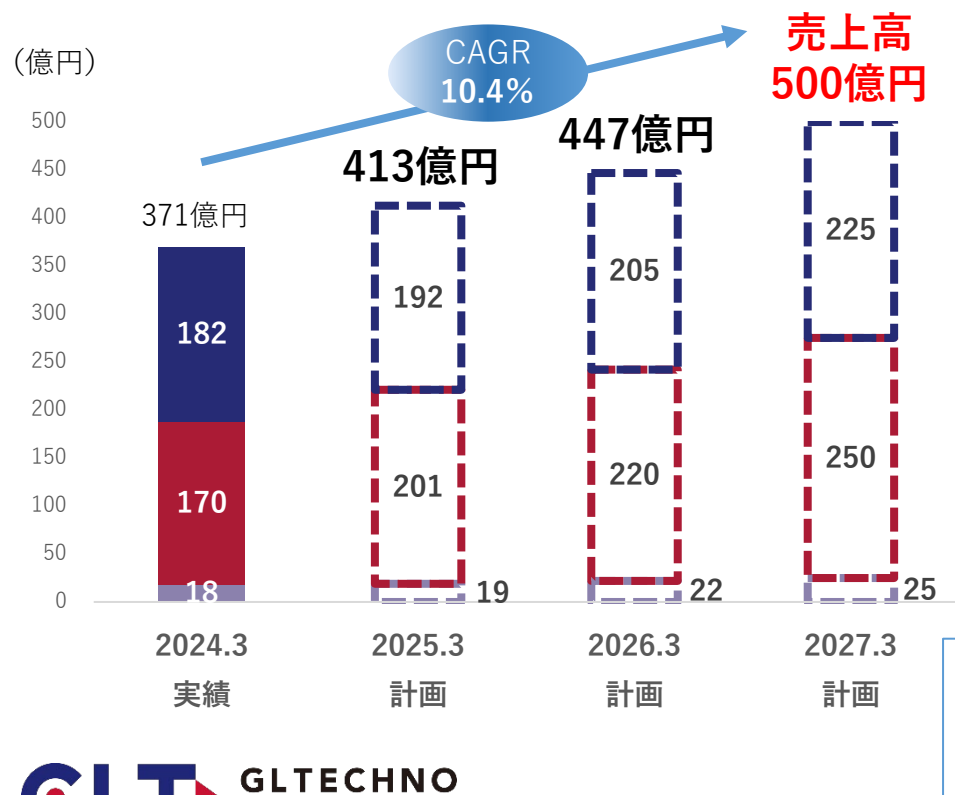
売上高 (百万円)	2024.3 実績	2025.3 計画	2026.3 計画	2027.3 計画	増加率	CAGR
分析機器事業	18,281	19,200	20,500	22,500	23.1%	7.2%
半導体事業	17,029	20,160	22,000	25,000	46.8%	13.7%
自動認識事業	1,836	1,960	2,200	2,500	36.2%	10.8%
全社	37,148	41,320	44,700	50,000	34.6%	10.4%

※増加率・CAGR:2024.3-2027.3比較

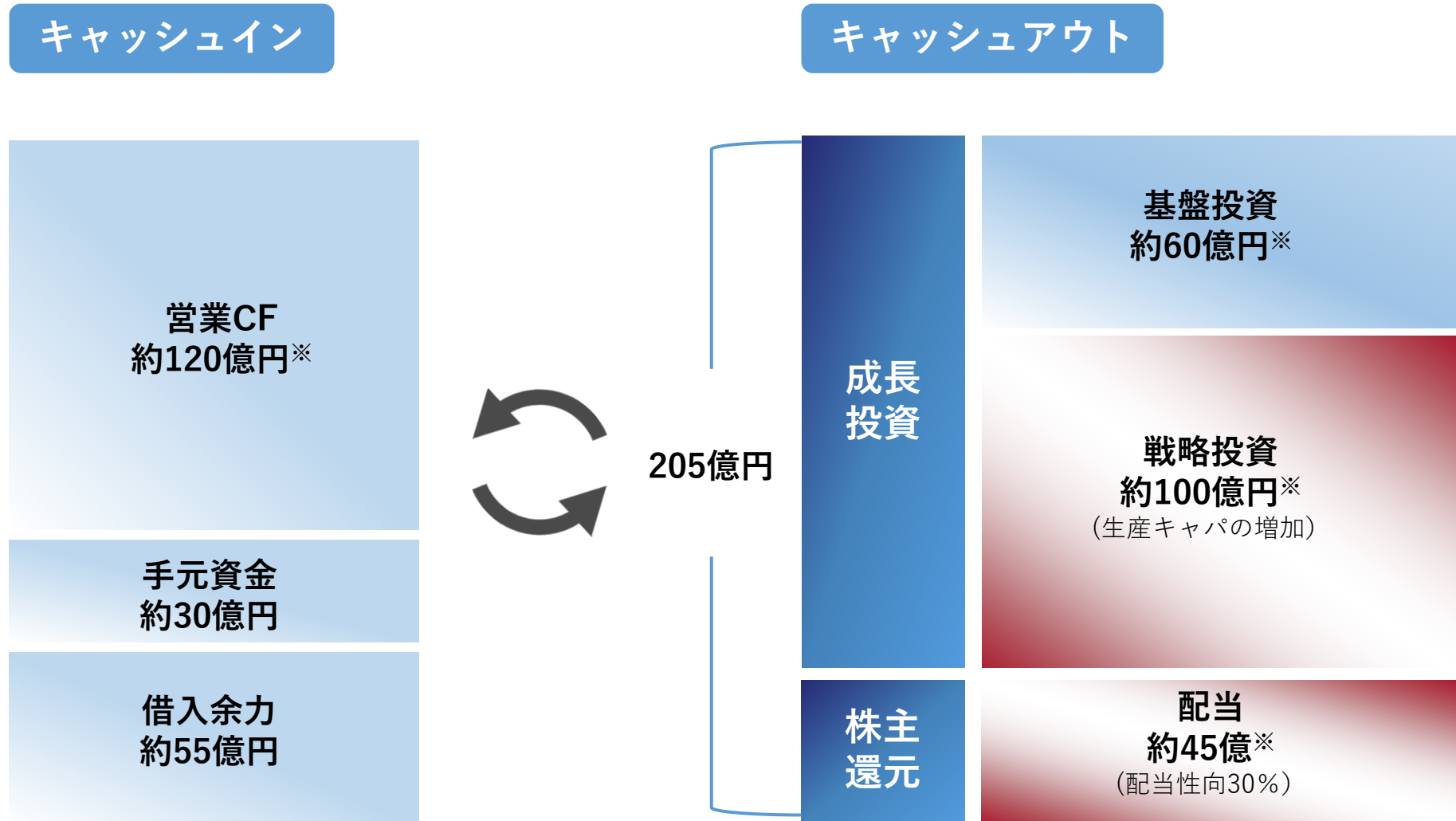
営業利益

営業利益 (百万円)	2024.3 実績	2025.3 計画	2026.3 計画	2027.3 計画	増加率	CAGR
分析機器事業	1,962	1,950	1,853	2,108	7.4%	2.4%
半導体事業	3,615	4,070	4,531	5,431	50.2%	14.5%
自動認識事業	134	120	133	200	48.7%	14.1%
全社	5,714	6,140	6,518	7,739	35.4%	10.6%

※増加率・CAGR:2024.3-2027.3比較



資本政策（キャッシュアロケーション）



※2025.3-2027.3 累計値

持続的成長と企業価値最大化に向けた成長投資を最優先します

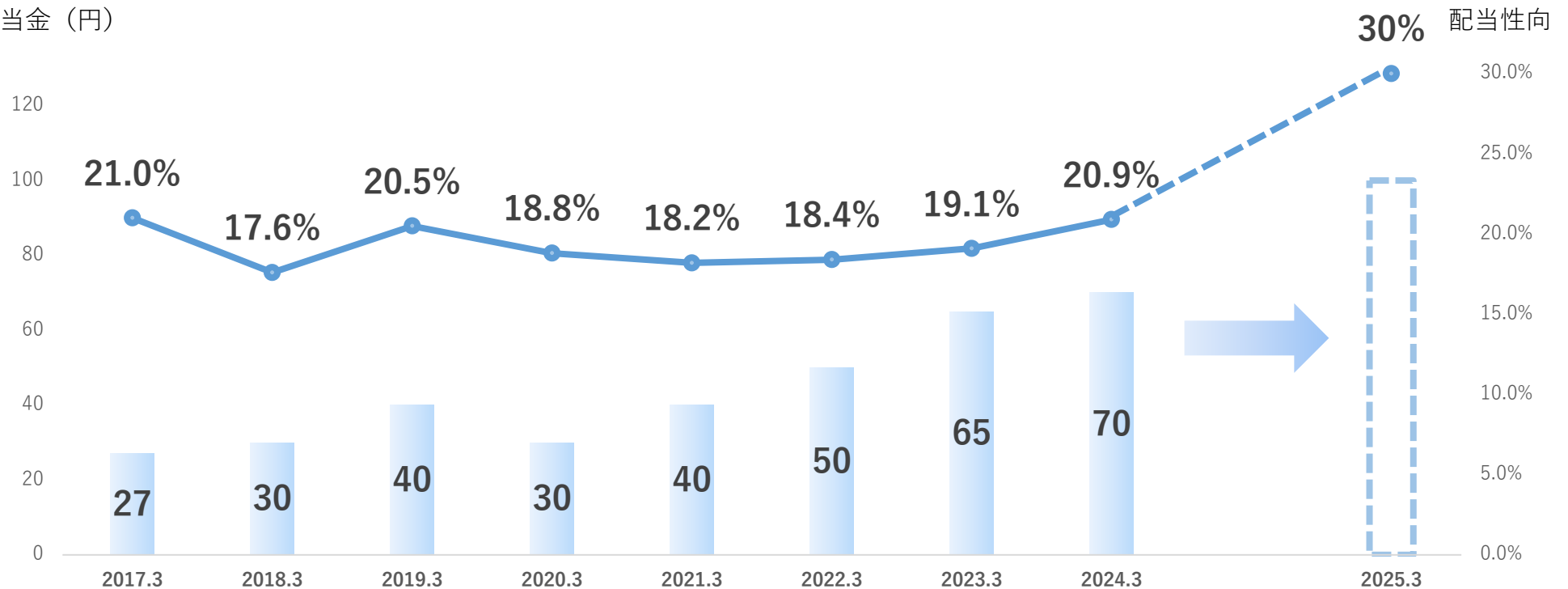
資本政策（株主還元）

基本方針

配当性向30%を目標

今後の事業拡大と内部資金の確保と株主各位への長期にわたる安定的な配当を念頭に、財務状況・利益水準・配当性向などを総合的に勘案して実施

配当金（円）



※2024.3以前の配当金は、ジーエルサイエンス(株)における配当金を記載しています

サステナビリティ基本方針

基本理念

ジーエルテクノグループは、『真に社会性のある企業への成長』という「企業理念」のもと、社員が働くことへの幸せを感じる環境作り、持続的企業発展のための創造や挑戦、製造改善や新技術による環境問題への取組を通じた社会貢献を行ってまいります。また、得られた利益は「会社・株主・社員・社会」に公正に分配し、技術や利益をもって「地球と社会の持続可能な発展」へと貢献します。
『道は一つ、共に進もう』を永久スローガンとし、ステークホルダーと共に社会課題解決に取り組んでまいります。

基本方針

Ⅰ 持続的な企業価値の向上	変わり続ける事業環境の中で、レジリエンスを高め柔軟に対応することで、競争力および生産性の向上を実現します
Ⅱ 環境保全への貢献	気変動への対応、循環型社会への取組など、ステークホルダーとの協働・共創を推進し、より良い未来の実現を目指します
Ⅲ 事業を通じた社会課題の解決	本業の活動を通じて、社会貢献を持続的に推進します
Ⅳ 企業活動を支える人材の育成と活躍の推進	お客様の課題解決のために挑戦を続け、社会に貢献できる人材を育成しやりがいと誇りをもって安全・健康に働くことができる環境を提供します
Ⅴ ガバナンス体制の強化	法令をはじめとした社会のルールを遵守するだけでなくすべてのステークホルダーからの期待に応えるよう努めます

Search for a Way

次のイノベーションのそばに。

免責事項

本資料に記載されている資料には、将来に関する業績の見通しを含みますが、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々なリスクや不確定要素に左右されるため、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の著作権はジーエルテクノホールディングス株式会社に帰属します。事前の承諾なしに著作物を使用することはできません。

ジーエルテクノホールディングス株式会社

〒163-1130 東京都新宿区西新宿6-22-1

TEL : 03-4212-6677

URL : <https://www.gltechno.co.jp>